

平成29年度（4月入学）

学生募集要項

[推薦特別選抜]

信州大学大学院総合理工学研究科（修士課程）

[繊維学専攻]

先進繊維・感性工学分野

機械・ロボット学分野

化学・材料分野

応用生物科学分野

[博士課程教育リーディングプログラム]

ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成

履修生募集要項



信州大学
SHINSHU UNIVERSITY

信州大学大学院入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

1 求める学生像

信州の悠久の歴史と文化, 豊かな自然環境のもと, 地域に根ざし世界に開かれた信州大学大学院は, 総合大学の特色を生かし, 国の活力を高める次世代を担う卓越した人材や世界的な視点で新たな価値を創造する質の高いグローバルな高度専門職業人の養成を目指しています。そのため, 以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- 幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち, さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- 知的好奇心が旺盛で, 専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- 深い知性, 論理的な思考力, 豊かな人間性を備え, 様々な分野でリーダーシップを発揮し, 活躍したい人
- 社会・環境・国際問題に関心をもち, 創造力を活かし, グローバルに活躍したい人
- 職業経験から獲得した知識・技能を高度化, 深化させたい人

2 入学者選抜の基本方針

信州大学の教育の理念・目標に則り, 各研究科の特性に応じた公正かつ適切な方法で入試を実施し, 大学院教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的に評価します

個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については, 入学者選抜のほか, 次の目的のために利用いたします。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお, 調査・研究及び結果の発表に際しては, 個人が特定できないように処理します。

総合理工学研究科入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

総合理工学研究科では、総合理工学研究科の基本理念・教育目標に基づき、次のような能力や意欲を備えた人を積極的に受け入れます。

1. 大学等において能動的に学び、十分な基礎学力と緻密な思考力を身に付けている人
2. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲をもって取り組む人
3. 世界をリードする先進的・科学・技術を担う研究者、あるいは複雑・高度な諸課題に専門性を持って貢献できる高度専門職業人を指す人

繊維学専攻入学者受入方針

繊維学専攻では、総合理工学研究科および繊維学専攻の基本理念・教育目標に基づき、次のような意欲を持った学生を求めています。

1. 大学等において能動的に学び、一般教養及び専門分野の基礎学力を身に付けている人で、高い志を持ち、現代の多様な学問分野を融合した学際領域的な科学技術の基礎的あるいは応用的研究に積極的に取り組む学生
2. 世界をリードする科学・技術を担う研究者あるいは高度専門職業人を指し、明確な目的意識と強い勉学意欲を持ち、進化する科学技術に対応するように、より高い専門的・実践的能力を得ることを目指していく学生
3. 地域社会や国際社会に貢献するために必要な、豊かな教養と人間性を高めようとする意欲を持った学生

総合理工学研究科は、次の専攻から構成されています。

専攻名	お問い合わせ先
<理学専攻> 数理・自然情報科学分野 物質基礎科学分野 地球生物圏科学分野	〒390-8621 松本市旭 3-1-1 信州大学理学部内 信州大学大学院総合理工学研究科 入試事務室 Tel 0263-37-2458
<工学専攻> 機械システム工学分野 電気電子工学分野 土木工学分野 建築学分野 物質工学分野 情報工学分野 環境機能工学分野	〒380-8553 長野市若里 4-17-1 信州大学工学部内 信州大学大学院総合理工学研究科 入試事務室 Tel 026-269-5056
<繊維学専攻> 先進繊維・感性工学分野 機械・ロボット学分野 化学・材料分野 応用生物科学分野	〒386-8567 上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内 信州大学大学院総合理工学研究科 入試事務室 Tel 0268-21-5304
<農学専攻> 生命機能科学分野 食品生命科学分野 生物資源科学分野 環境共生分野	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304 信州大学農学部内 信州大学大学院総合理工学研究科 入試事務室 Tel 0265-77-1310
<生命医工学専攻> 生命工学分野 生体医工学分野	〒390-8621 信州大学大学院総合理工学研究科 入試事務室(学務課大学院室) Tel 0263-37-2863

* 本募集要項は、繊維学専攻について記載しています。他の専攻については、表中の「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

[推薦特別選抜]

1. 募集人員

分野名	分野ごとの募集人員の概数	募集人員
先進繊維・感性工学分野	20人	80人
機械・ロボット学分野	10人	
化学・材料分野	39人	
応用生物科学分野	10人	

試験の成績によっては、分野ごとの合格者数が募集人員の概数を、上回る場合、下回る場合があります。

2. 出願資格

出願できる方は、それぞれの分野の専門教育を受け、学業成績が優秀で人物・健康状態ともに良好であり、出身大学等の学長等から推薦され出願し、かつ、合格した場合は必ず入学できる方で、次の各号のいずれかに該当する方とします。

- (1) 大学（修業年限4年以上）を平成29年3月までに卒業見込みの方
- (2) 大学評価・学位授与機構により平成29年3月までに学士の学位を授与される見込みの方

3. 出願手続

- (1) 出願期間及び書類提出先

- ① 出願期間

平成28年6月6日（月）から6月10日（金）まで。受付時間は、9時から17時まで（12時～13時を除く。）とします。

郵送の場合は、6月10日（金）17時までに到着したものを受け付けます。

- ② 書類提出先

〒386-8567 上田市常田 3-15-1

信州大学繊維学部内 信州大学大学院総合理工学研究科入試事務室

Tel 0268-21-5304

- (2) 出願方法の注意事項

出願書類等を郵送する場合は、「簡易書留速達郵便」とし、封筒の表に『大学院修士課程推薦特別選抜願書在中』と朱書してください。

(3) 出願書類等

出 願 書 類 等	備 考
①入 学 志 願 票 受 験 票	<p>ホームページ掲載の様式をダウンロードし、必要事項を記入してください。（データに直接入力後、印刷できます。）</p> <p>http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/graduate/recommendation.html</p> <p>出願前3か月以内に撮影した正面、無帽、上半身、背景なしの写真（縦4cm×横3cm）を、裏面に氏名を記入のうえ、指定欄に貼ってください。</p> <p>※受験票を後日メールにて送付しますので、必ず受験票を受け取るアドレスを入学志願表にはっきりと記載してください。（メールでの受験票送付を希望しない場合には⑤の受験票送付用封筒を提出してください。）</p>
②卒業見込証明書 成績証明書	<p>出身大学等の学長又は学部長（大学以外は出身学校長）が作成し、厳封したものとします。</p> <p>また、編入学をされた方は、編入学前の学校の成績証明書も同様の方法により、併せて提出してください。</p> <p>（注）信州大学繊維学部卒業見込者は、本学発行の証明書の提出は不要です。</p>
③入学検定料納付 確認書（A票）	<p>ア. 入学検定料30,000円をホームページ掲載の様式（http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/graduate/abroad.html）をダウンロードして使用し、平成28年5月30日から平成28年6月10日までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。</p> <p>振り込みには、別途振込手数料が必要です。なお、郵便局（ゆうちょ銀行）からの振り込みはできません。また、ATM（現金自動預支払機）、携帯電話及びパソコンからの振り込みは行わないでください。</p> <p>イ. 振り込み後、納付確認書（A票）及び領収書（B票）を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書（A票）を提出してください。</p> <p>また、「取扱金融機関収納印」欄に、出願期間最終日までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込まれる場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ、行ってください。</p> <p>ウ. 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振り込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。</p> <p>（注）受験時に国費外国人留学生の方は、検定料は不要です。</p>
④推 薦 書	<p>ホームページ掲載の様式をダウンロードし出身大学等の学長、学部長（大学以外は出身学校長）、学科長又は指導教員が作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/graduate/abroad.html</p>
⑤受験票送付用封筒	<p>長形3号（12cm×23.5cm）の封筒を用意して、郵便番号、住所及び氏名を明記し、362円分の切手（速達料を含む。）を貼ってください。</p> <p>（メールでの受験票送付を希望しない場合には提出してください。）</p>
⑥そ の 他	<p>ア. 日本国籍を有しない方は、パスポートの顔写真のページ（国籍が明記されているページを含む。）の写しを提出してください。また、日本国内から出願される方は、併せて最新在留資格・期間の証印添付のページ、又は在留カードの写しを提出してください。</p> <p>イ. 本学以外の大学に在学している国費外国人留学生の方は、大学の発行する国費外国人留学生証明書を提出してください。</p> <p>ウ. 「2. 出願資格」(2)により出願する方で、学士の学位を授与される見込の方は、学士の学位授与申請予定証明書（在籍学校長が発行したもの）、又は学位授与申請受理証明書（大学評価・学位授与機構が発行したもの）を添付してください。</p>

4. 入学者選抜方法, 試験場及び期日

入学者の選抜は、面接試問及び出願書類の審査の結果を総合して行います。

日 時：平成 28 年 7 月 4 日（月）10 時～

試験場：上田キャンパス（信州大学繊維学部）上田市常田 3-15-1

分 野 名	ユ ニ ッ ト 名	検 査 方 法
先進繊維・感性工学	先進繊維工学 感性工学	面接試問
機械・ロボット学	—	
化学・材料	ファイバー材料工学 機能高分子学 応用分子化学	
応用生物科学	—	

5. 合格者発表

次の期日に上田キャンパスの公用掲示板に掲示するとともに、ホームページへ掲載します。

なお、合格者には合格通知書を送付します。

平成 28 年 7 月 14 日（木）16 時

6. 入学確約書

選抜試験の合格者は、平成 28 年 8 月 5 日（金）までに、総合理工学研究科長あて「入学確約書」（用紙は合格通知書と併せて送付します。）を「3. 出願手続」に記載の「書類提出先」に提出してください。

7. 入学手続及び納付金

合格者は、入学料を納入するとともに入学手続期間内に必要な書類を提出してください。入学手続に必要な書類等は、入学確約書を提出した方に対して、平成 29 年 2 月に改めて通知します。

(1) 入学手続期間

平成 29 年 3 月 6 日（月）～平成 29 年 3 月 10 日（金）

持参による場合は、9 時から 17 時まで（12 時～13 時を除く。）とします。

郵送による場合は、平成 29 年 3 月 10 日（金）17 時までに必着とします。

(2) 入学手続場所

「3. 出願手続」に記載の「書類提出先」と同じです。

(3) 納付金の納入等

① 納付金（入学料・授業料）の額

ア 入学料 282,000 円

イ 授業料 （前期）267,900 円 （後期）267,900 円

（注）金額は平成 28 年 4 月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合に

は、改定時から新入学科・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、入学
手続書類等送付時に通知します。

- ② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。
- ③ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度（授業料
のみ）がありますので、希望される方は、入学手続書類送付時に同封される入学料免除・授業料免
除等に関する書類をよく読んだうえで、願い出てください。

8. 注 意 事 項

- (1) 出願書類に不備があるものは受理しません。
- (2) 出願手続後の書類の変更は認めません。
- (3) 受理した出願書類はどのような理由があってもお返しできません。
- (4) 納入済みの検定料は出願書類を受理した後はお返しできません。なお、検定料を誤って二重に振
り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受
理されなかった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して
納入された分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入試情報/大学院
入試/入学検定料返還手続）をご覧ください。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/return.html>)

- (5) 出願書類に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。
- (6) 面接試問には、必ず受験票を携帯してください。
- (7) 出願後、「受信場所」に変更があった場合は、直ちに「3. 出願手続」に記載の「書類提出先」に届
け出てください。
- (8) 平成 29 年度 4 月入学 大学院総合理工学研究科 生命医工学専攻 推薦特別選抜(上田キャンパス)につ
いても試験日が同一です。詳細は生命医工学専攻の募集要項をご覧ください。

9. 障害等のある方の事前相談

この募集要項により本研究科に入学を志願する方で、障害等のために受験上及び修学上の配慮を必要と
する方は、平成 28 年 5 月 30 日（月）17 時まで必着で「3. 出願手続」に記載の「書類提出先」に書
面（出願希望分野（ユニット）、障害等の内容・程度、受験上・修学上配慮を希望する事項、日常生活の
状況等を記載したもの）により相談してください。

なお、障害等の内容がわかる書類（障害者手帳の写し、医師の診断書等）を提出していただく場合も
あります。

詳細等、提出する書面の様式等については、本学ホームページ（入試情報/大学院入試/障害等のある
方の事前相談）をご覧ください。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/consultation.html>)

10. そ の 他

(1) 修了の認定及び学位

本研究科修士課程に2年以上在学し、各分野(ユニット)の所定科目について30単位以上を修得し、かつ、学位論文の審査及び最終試験に合格した方には、修士の学位(工学, 農学)が授与されます。

(2) 奨学金

日本学生支援機構から奨学金の貸与を希望する方は、選考のうえ、奨学生に採用されます。

(3) 入学試験に関する照会は、「3. 出願手続」に記載の「書類提出先」にお問い合わせください。

修士課程概要

〔繊維学専攻〕

分野名	ユニット名	内 容
先進繊維・感性工学	先進繊維工学	<p>天然及び合成高分子の構造と物性。高含水・高弾性ゲル及び高弾性エンジニアリングプラスチックの構造と繊維化</p> <p>繊維及び繊維集合体である糸・布の加工過程の解析と計算機シミュレーション、画像処理による布の表面構造の解析</p> <p>繊維生成過程に関わる統計理論の構築とその応用</p> <p>動的システムの数学的モデルとその解析、特に特徴抽出機能及びパターン認識機能を持つ並列分散ネットワークの設計開発</p> <p>ファイバオプティックスによる物理量と化学量センサ・レーザ光による目視検査システムの開発、応用、繊維・工業製品の快適性の計測と人間工学の応用による解析</p>
	感性工学	<p>人が外界から情報を取得するメカニズムを分子、遺伝子、タンパク質、細胞、神経活動、脳、生体反応のレベルで解明し、感性の成立過程を理解し、製品に生かすべき感性の計測手法を開発するための教育と研究</p> <p>感性の文化的背景を組み込んで、感性の定量的表現を行い、色感、触感、存在感、生き生き感など、様々な感性の相関を探り、感性を総合的にとらえ、表現する方法を情報処理技術を駆使して確立するための教育と研究</p> <p>感性を製品に生かし、表現する方法を編み出し、感性の生きた製品を作り上げる技術を開発し、感性製品が人の手に渡りやすくする流通手段を確立するための教育と研究</p>
機械・ロボット学	—	<p>繊維及び粒子強化複合材料・構造体の設計と応用化技術、傾斜機能・シナジ機能材料の創製と評価、破壊と寿命予測、微視・巨視相関解析、環境応答性とリサイクル技術、知能材料とスマート構造体の開発、ナノテクノロジーによる機能発現（遮音機能、振動減衰機能、自己修復機能等々）、ナノファイバーの創成と応用、カーボンナノチューブの振動・液体輸送解析</p> <p>各種ロボットの開発（月面探査用ロボットおよび軟弱地盤走行車輪、搾乳ロボット、超伝導織機、手紡ぎロボット、身障者リハビリシステムなど）、計測と制御技術（柔軟物の高機能ハンドリングと運動制御など）、新世代自動車システム開発（ソーラーカー、燃料電池カー、フォーミュラカーなど）、小型ヘリコプターの開発と飛行制御</p> <p>環境浄化技術の開発、二重拡散対流の流動と伝熱、吸収式ヒートポンプにおける吸収促進技術、熱流体数値解析、熱物性値の簡易測定法、エネルギー工学および各種先端技術における伝熱制御、流れの可視化技術、凝縮、相変化を伴う熱流動、二相流</p>
	ファイバー材料工学	<p>超微粒子・薄膜・繊維・ファインセラミックスなどの形態制御と機能設計、燃料電池・キャパシタ・太陽電池などエネルギー材料の開発、電子・光・触媒・生物などが関与する新しい機能材料の創出、新しい製造プロセス・装置の開発、システムの評価手法の確立</p> <p>数理的手法および実験による各種材料の物性解明、量子効果をはじめとする物性に関する複雑な現象の体系化、電磁波利用による物性と応用研究、繊維・高分子・無機有機ハイブリッド材料の開発と物性解明と応用、界面設計による新規材料の創出と物性解明</p>
	化学・材料	

化学・材料	機能高分子学	DNA アプタマーを用いたバイオセンシング技術の開発, タンパク質, 多糖類などの天然高分子材料を素材として用いた生医学材料の開発, 生物繊維原料タンパク質に関する生化学
		超分子化学に基づく新規ゲル化剤や増粘剤の開発, ゲル化機構の解明, ゲル化剤・増粘剤の化粧品などへの応用, 異種素材(ナノ材料)との組み合わせによる繊維の高性能化(高強度化)・高機能化(導電化, 抗菌付与など), イオンや物質の透過を制御する機能高分子膜・マイクロメタルテキスタイル・カーボンナノファブリックの開発と応用, 薄型軽量燃料電池の開発
		化学分解性を有する環境低負荷型機能性有機材料の開発, 光機能性有機材料の開発, 低分子化合物の自己集合を利用した機能性材料の開発・機能評価・応用についての研究, 戦略的分子設計に基づく高分子の精密合成・機能化, 繊維化による構造形成を利用した高分子およびセラミックス機能材料の開発
		太陽電池等の電子材料に応用可能な新規液晶物質の合成と物性, 特にディスプレイ液晶物質のカラムナー相における自発的配向制御と有機薄膜太陽電池への応用, 有機ELや有機トランジスタ, 有機太陽電池などの材料科学とデバイス応用に関する研究, 糖類を構成要素とする超分子材料を用いた機能性材料の開発, 多糖類由来ナノウィスカー(微結晶)をフィラーとして用いた複合材料の開発
	応用分子化学	金属酸化物ナノ材料の新規合成法の開発と機能性触媒としての応用に関する研究
		炭素材料の構造, 物性, 応用に関する研究
		ボラ型電解質やジェミニ界面活性剤の合成とそれらの染色助剤や廃液処理剤への応用, 微視的環境プローブの開発, 防縮加工羊毛の染色機構解明, 還元酸化処理羊毛の構造評価と染色への影響解明
		機能性高分子微粒子を合理的に設計し, その合成技術を開発。また, 得られるナノ粒子の構造評価, ならびに応用に向けた研究
		コロイダルシリカ, 有機ポリマー系微粒子, ハイドロゲル系微粒子のフォトニッククリスタルをめざしたコロイド結晶化技術の開発, ならびに, コロイド結晶の光学的性質の解明
		有機合成化学: 新規有機反応の開発, 生物活性物質の全合成, 魚類フェロモンの構造活性相関の研究等
		分子設計にかかわる量子化学・計算化学の基礎理論や手法の展開, ならびにその応用に関する研究
		ナノカーボンの蓄電デバイス, 吸着材料, 発光材料への応用に関する研究
		高分子を用いた機能性膜材料やバリア膜の開発および高分子膜中の低分子の輸送特性の解明
		原子あるいは官能基の性質に着目した不斉有機触媒のデザインと合成。創出した新規触媒の高選択的官能基変換あるいは炭素炭素結合形成反応への応用
界面・コロイド化学のナノテク・バイオにわたる研究, 磁気・半導体デバイスのモデル系となる粒子膜を基板上に作製する研究, 関節部分の摩擦を軽減する潤滑膜の創製, モデル系での実験による糖尿病などの病気の原因解明		
印刷によるマイクロ化学チップ作製法の開発		
応用生物科学	—	
	環境化学分野(環境分析, 毒性評価法および環境浄化法など)	
	ゲノム情報や遺伝子機能解析による植物の遺伝的改良の効率化	
	陸水生態学, 環境衛生学。ヒトの健康と水環境の保全に関する研究	
	植物の二次代謝酵素・遺伝子機能の解析と代謝制御, 物質生産等への応用	
生体内タンパク質合成機構の解明及び有用タンパク質資源の探索・応用化		

応用生物学	昆虫の季節的な発生可塑性の分子解析と応用技術の開発
	細菌のバイオフィーム形成と表層ストレス応答機構の研究
	昆虫生体高分子の新しい利用技術の開発を目指した研究
	有用微生物の探索と利用, 生物工学的手法を用いた有用菌株の分子育種
	枯草菌およびその類縁菌に関するゲノムレベルでの応用微生物学的研究
	哺乳動物における遺伝資源保存ならびに生殖工学技術に関する研究
	植物分子生物学に立脚した作物の形態や耐病性などの性質の改善
	食糧・エネルギー問題解決への貢献を目指した植物科学の基礎・応用研究
	家蚕・野蚕の遺伝資源の収集・保存と新規実用系統の育成に関する研究
	遺伝子工学を用いた, より役に立つ植物や微生物を作るための研究
	蛋白質工学 (有用蛋白質開発応用), 構造生物学 (蛋白質構造機能解析)
	昆虫の環境応答機構に関する分子生理学的研究
	家蚕や桑・棉など各種繊維動植物の生物機能を主に生化学的立場から解明
	核酸やタンパク質などの機能構造解析・相互作用のメカニズム解析と応用
	精子幹細胞の性質や機能を理解し制御する方法を開発し、男性不妊や精巣老化を克服する
	生物工学的手法を利用した生体材料の開発及び機能解析の研究

受験 番号	※
----------	---

推 薦 書

平成 年 月卒業見込

被推薦者氏名 _____ 日生
昭和・平成・西暦 年 月 日

上記の者を、貴研究科が実施する推薦特別選抜の条項に該当する者と認め、
_____ 分野（ _____ ユニット）に責任
をもって推薦いたします。

平成・西暦 年 月 日

信州大学大学院総合理工学研究科長 殿

大学・学部名
職 名
推 薦 者 氏 名

印

記載教員名 (必ず押印願います。)	印	被推薦者との関係	
1. 学 業			
2. 人 物			
3. 課外活動，特技，趣味等特記すべき事項			

- (注) 1. ※印の欄は記入しないでください。
2. 記入欄が不足した場合は、別紙に記載してください。
3. 必ず、厳封したものを提出して下さい。

推薦
特別選抜
(学外者用)

平成29年度 信州大学大学院総合理工学研究科
修士課程入学志願票（繊維学専攻）

注意) 裏面の記入上の注意事項を読み記入してください。

受験番号	※	志望分野	分野			
フリガナ						
氏名 (自国語)		志望 ユニット	先進繊維・感性工学分野及び、化学・材料分野の志望者は、下の欄にユニット名も記入			
ローマ字	(外国人のみローマ字も記入)		ユニット			
生年月日	昭和・平成・西暦 年 月 日 (歳) 男・女 (外国人の場合は西暦で記入)	希望指導 教員氏名	☆予め希望指導教員の下承を得て、必ず記入して下さい。			
出願資格	国立 公立 私立	大学	学部	課程 学科		
	昭和・平成・西暦	年	月	(卒業見込・卒業) (外国人で外国の大学を卒業の場合は西暦で記入)		
現住所 (本人 受信場所)	〒	—	住所			
	電話 () — () — ()		e-mail			
緊急時の 連絡先	〒	—	住所	氏 名		
	電話 () — () — ()		本人との関係			
履 歴 書						
	年月〔外国人の場合は西暦で記入〕	修業 年限	事 項		入学・卒業等	
学 歴 <small>高等学校入学から記入すること。ただし、外国人は小学校入学から記入するとともに、修業年限の欄も記入すること。</small>	昭和・平成・西暦 年 月	年	小学校		入学	
	昭和・平成・西暦 年 月		小学校		卒業	
	昭和・平成・西暦 年 月	年	中学校		入学	
	昭和・平成・西暦 年 月		中学校		卒業	
	昭和・平成・西暦 年 月	年	高等学校		入学	
	昭和・平成・西暦 年 月		高等学校		卒業	
	昭和・平成・西暦 年 月	年	大学	学部	系・学科	入学
	昭和・平成・西暦 年 月		大学	学部	課程・学科	卒業見込 卒業
昭和・平成・西暦 年 月	年	大学	学部	研究生	入学	
昭和・平成・西暦 年 月		大学	学部	研究生	終了見込 終了	
職 歴	昭和・平成・西暦 年 月				入社	
	昭和・平成・西暦 年 月		同上		現在に至る 退社	
賞 罰	昭和・平成・西暦 年 月					

入学志願票等記入上の注意事項

1. 全般について

※印の欄は記入しないでください。

2. 各欄の記入について

(1) 出願資格

「卒業見込・卒業」については、該当するものを○で囲んでください。

(2) 現住所〔本人受信場所〕

出願時から入学時まで、確実に受信できる場所を明記してください。なお、出願後に変更が生じた場合は、受験番号、氏名、志望分野(ユニット)名を明記の上、届け出てください。

(3) 履 歴 書

- ① 学歴欄は、高等学校入学から記入してください。ただし、外国人の方は、小学校入学から記入するとともに、修業年限の欄も記入してください。
- ② 学歴欄の「卒業見込・卒業」，「終了見込・終了」及び職歴欄の「現在に至る・退社」については、該当するものを○で囲んでください。
- ③ 研究生歴のある方は、その旨を記入してください。

平成29年度 信州大学大学院総合理工学研究科
修士課程入学志願票(繊維学専攻)



注意) 裏面の記入上の注意事項を読み記入してください。

受験番号	※	志望分野	分野
フリガナ			(ユニット)
氏名 (自国語)		希望指導 教員氏名	☆) 予め希望指導教員の上承を得て、必ず記入してください。
ローマ字	(外国人のみローマ字も記入)	卒業研究等 現在の指導教員	
学籍番号			
現住所	〒	—	
〔本人 受信場所〕	住所		
	電話	() — () — ()	
	e-mail アドレス		

<記入上の注意事項>

1. 全般について
 - ※印の欄は記入しないでください。
2. 各欄の記入について
 - (1) 現住所〔本人受信場所〕

出願時から入学時まで、確実に受信できる場所を明記してください。なお、出願後に変更が生じた場合は、受験番号、氏名、志望分野(ユニット)名を明記の上、届け出てください。
 - (2) 学籍番号

信州大学繊維学部在学時の学籍番号を必ず明記してください。

平成29年度
信州大学大学院総合理工学研究科
修士課程入学（繊維学専攻）

推薦
特別選抜
(共通)

受 験 票

受験番号	※
志望分野	分野
フリガナ	
氏 名	

写真貼付欄

(縦4cm×横3cm)

写真の裏面に氏名
を記入
(全面のりづけ)

＜記入上の注意事項＞

- 1 ※印の欄は記入しないでください。
- 2 受験時に眼鏡を使用する場合は、必ず眼鏡使用の写真を貼ってください。
- 3 写真はしっかりと貼付してください。

A票 (大学提出用) 平成29年度 入学検定料納付確認書

依頼日	平成 年 月 日
フリガナ	
志願者氏名	
〒	
住所	
TEL	- -

1. 金融機関（郵便局（ゆうちょ銀行）を除く）の収納印がない場合は無効となります。
2. 金額を訂正したものの、鉛筆書きは無効となります。

学部コード	
F	4

取扱金融機関収納印



下記のとおり入学検定料として納付いたしました。

金額	千	円
¥ 30000		

信州大学

銀行
支店

----- (振込み後、自分で切り離してください。) -----

B票 (志願者保管用) 平成29年度 入学検定料納付確認書

(大切に保存してください)

依頼日	平成 年 月 日
志願者氏名	
〒	
住所	
TEL	- -

1. 金融機関（郵便局（ゆうちょ銀行）を除く）の収納印がない場合は無効となります。
2. 金額を訂正したものの、鉛筆書きは無効となります。

学部コード	
F	4

取扱金融機関収納印



下記のとおり入学検定料として領収いたしました。

金額	千	円	手数料	円
¥ 30000				

信州大学

銀行
支店

----- (金融機関で切り離してください。) -----

電信扱

平成29年度
入学検定料

振込依頼書 (取扱店保存)

勘定科目	※
------	---

取扱金融機関へお願い

振込期間 平成28年5月30日～平成28年6月10日

だと続学
さい。の部
間打のて
は電コー
1ド
1はド
マはド
ス1
く(マ
空だ
けて
は氏
打。名
電な頭
しお部
てに
く姓

依頼日	平成 年 月 日	振込指定	電信扱	手数料	円
振込先銀行	みずほ銀行 松本支店	普通 1752813	金額	¥ 30000	円
受取人	口座名	コクリツダイガクハウジンシンシュウダイガク		現金	
		国立大学法人信州大学		当店券	
				他店券	
ご依頼人	学部コード (2桁)	志願者氏名 (カタカナ)			
	F 4				
	志願者氏名 (漢字)				
	〒				
住所					
TEL	- -				

取扱金融機関収納印



C票

信州大学

<本用紙に関するお問合せ>
信州大学経理調達課 (収入担当)
TEL 0263-37-2135

記入例

Entry Example

- (注意) 1. 太枠内に日付、住所、氏名等を記入してください。
 2. 郵便局(ゆうちょ銀行)を除く金融機関の窓口から振込みしてください。ATM、パソコン、携帯電話等からの振込みは行わないでください。
 3. 金額を訂正したもの、鉛筆書きしたものを、金融機関の収納印がないものは無効となります。
 4. 振込み後、納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認してください。
 5. 入学検定料納付確認書(A票)は他の出願書類とともに提出してください。

日付、氏名、住所を記入してください。
大学への提出用となります。

A票 (大学提出用) 平成29年度 入学検定料納付確認書

依頼日	平成〇年 〇月 〇日
フリガナ	シンシュウ タロウ
志願者氏名	信州 太郎
〒	123-4567
住所	長野県〇〇市〇〇1-2-3
TEL	1234-56-7890

- 金融機関(郵便局(ゆうちょ銀行)を除く)の収納印がない場合は無効となります。
- 金額を訂正したものを、鉛筆書きは無効となります。

学部コード	F 4
-------	-----



下記のとおり入学検定料として納付いたしました。

金額	¥30000
----	--------

信州大学

銀行
支店

(振込み後、自分で切り離してください。)

(大切に保管してください)

B票 (志願者保管用) 平成29年度 入学検定料領収書

振込み後、金融機関の収納印があることを確認してください。

依頼日	平成〇年 〇月 〇日
志願者氏名	信州 太郎
〒	123-4567
住所	長野県〇〇市〇〇1-2-3
TEL	1234-56-7890

- 金融機関(郵便局(ゆうちょ銀行)を除く)の収納印がない場合は無効となります。
- 金額を訂正したものを、鉛筆書きは無効となります。

学部コード	F 4
-------	-----



下記のとおり入学検定料として領収いたしました。

金額	¥30000	手数料	円
----	--------	-----	---

信州大学

銀行
支店

日付、氏名、住所を記入してください。
領収書ですので、大切に保管してください。

(金融機関で切り離してください。)

電信扱

平成29年度 入学検定料 振込依頼書 (取扱店保存)

勘定科目	※
------	---

取扱金融機関へお願い

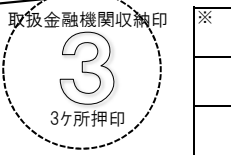
振込期間 平成28年5月30日~平成28年6月10日

依頼日	平成〇年 〇月 〇日	振込指定	電信扱	手数料	円
受取人	振込先 銀行	みずほ銀行 松本支店	普通	金額	¥30000
	口座名	コクリツダイガクハウジンシンシュウダイガク		現金	
		国立大学法人信州大学		当店券	
			他店券		
ご依頼人	学部コード(2桁)	志願者氏名(カタカナ)			
	F 4	シンシュウ タロウ			
		志願者氏名(漢字)			
		信州 太郎			
	〒	123-4567			
住所		長野県〇〇市〇〇1-2-3			
	TEL	1234-56-7890			

いのし学
間で打
1部は
コード
マステ
ス空け
てくださ
い。は
氏名頭
部に連
続

カタカナで氏名を記入してください。

氏名、住所を記入してください。



C票

信州大学

<本用紙に関するお問合せ>
信州大学経理調達課(収入担当)
TEL 0263-37-2135

平成29年度 4月入学

2017 Academic Year (April Admission)

平成28年度10月編入

博士課程教育リーディングプログラム

Advanced Leading Graduate Program

「オンリーワン型」

Only One Type

[ファイバーリネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成]

Global Leader Program for Fiber Renaissance

履修生募集要項

Student Application Guidelines

本プログラムの履修を希望する方は、
総合理工学研究科出願書類と一緒に提出して下さい。

Students who wish to enroll in the Leading Program should submit their documentation along with the application documents for the Graduate School of Science and Technology.

〔日本在住者用〕

1. プログラムの概要

このプログラムは、「ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成」を取組目標としています。繊維・ファイバーは衣料分野にとどまらず、建築・土木、航空機などの輸送体、電気・電子材料、健康・医療など、これら日本の産業基盤を支えている広範な分野と関連しています。繊維・ファイバー技術を他の先端分野技術と融合させるため、原料からプロセス、システム、評価までのすべての専門知識を備えるとともに、広く総合的な専門性を有し、広い科学技術的視野と国際感覚、コーディネート力、人間力を備えたグローバルリーダーを養成することを目指しています。

これにより、日本唯一の繊維学部から、物・人・情報の受発信基地としての"ハブ"機能を有する世界ナンバーワンの繊維系教育研究機関として発展することを目的としています。

体制

専攻等： 信州大学大学院総合理工学研究科（上田キャンパス）
繊維学専攻（先進繊維・感性工学分野，機械・ロボット学分野，化学・材料分野，応用生物科学分野）
生命医工学専攻（生体医工学分野）
信州大学大学院総合工学系研究科（上田キャンパス）

連携： 東京大学大学院，京都大学大学院，東京工業大学大学院，東京農工大学大学院，独立行政法人宇宙航空研究開発機構，欧州繊維系大学連合（AUTEX），米：ノースカロライナ州立大学，英：マンチェスター大学，仏：国立繊維工芸工業高等学院（ENSAIT），独：ドレスデン工科大学，澳：ウイーン天然資源大学，中：香港理工大学，蘇州大学，印：インド工科大学，新：シンガポール国立大学

プログラム担当者： 信州大学所属教員 32名，および他大学（在外大学を含む）教員 10名

教育目的

ファイバー技術を用いた技術革新（ファイバールネッサンス）を進めるためには、ファイバー分野における国際的な新産業の動きをいち早くとらえ、専門的な知識と強いリーダーシップを持つ、人間力に優れた新たな人材が求められています。本プログラムでは、産業界で活躍する以下の能力を持ったグローバルリーダーを養成します。

- (1) 繊維・ファイバーに関する専門知識と応用力
- (2) 人類社会の諸課題とファイバー技術を結びつける俯瞰力
- (3) 異分野，異業種のグローバルな橋渡しにより新しい価値を創造できる能力
- (4) 基礎研究から応用研究，製品化・事業化研究までを繋ぐ能力
- (5) 先導的なプロジェクトマネジメント能力

プログラムの詳細はホームページでご確認ください。 <http://www.shinshu-u.ac.jp/project/leading/>

2. 募集人員

研究科名	課程	専攻名（分野）	募集人員
総合理工学研究科	修士課程	<繊維学専攻> 先進繊維・感性工学分野 機械・ロボット学分野 化学・材料分野 応用生物科学分野 <生命医工学専攻> 生体医工学分野（上田キャンパス）	平成29年4月入学：10名程度 平成28年10月編入：若干名

3. 履修対象者

本プログラムは5年一貫（博士前期課程2年，博士後期課程3年）のプログラムであり，申請できる者は，以下のとおりです。

<平成29年4月入学生対象>

- (1) 平成29年4月信州大学大学院総合理工学研究科修士課程【繊維学専攻（先進繊維・感性工学分野，機械・ロボット学分野，化学・材料分野，応用生物科学分野）】【生命医工学専攻（生体医工学分野・上田キャンパス）】の推薦特別選抜，一般選抜及び外国人留学生特別選抜の出願者。

ただし，選抜試験に不合格になった者，または平成29年4月に入学することを辞退した者は履修することはできません。

- (2) 募集開始時に総合理工学研究科（修士課程・上田キャンパス）1年次に在籍している学生。

<平成28年10月編入生対象>

募集開始時に，総合理工学研究科（修士課程・上田キャンパス）1年次に在籍している学生で推薦特別選抜または一般選抜で入学した学生。

※編入する年次は1年次となります。

※編入する以前に在籍した総合理工学研究科の在籍期間については，本プログラムでの在籍期間として算入できます。また，編入する以前に総合理工学研究科において修得した授業科目については，審査により本プログラムで履修した科目として読み替えることができます。

4. 申請受付期間

<推薦特別選抜出願者>

平成28年6月6日（月）から6月10日（金）まで（必着）

<一般選抜，外国人留学生特別選抜出願者及び総合理工学研究科1年次生>

平成28年7月15日（金）から7月22日（金）まで（必着）

受付時間は，9時から12時まで及び13時から17時までとし，土曜日，日曜日は受け付けません。

なお，郵送の場合は，受付期間最終日の17時までに到着したものを受け付けます。

注意：外国の大学を卒業した（または見込みの）方，外国において学士の学位を取得した（または見

込みの方)は、外国において学校教育における16年の課程を修了しているか等について、事前審査の前に信州大学大学院総合理工学研究科選抜試験における出願資格チェックを受ける必要があります。詳細は平成29年度(4月入学)学生募集要項をご覧ください。

出願資格チェック受付：平成28年5月30日(月)まで

5. 申請手続

履修希望者は、提出書類を所定の期日までに、該当する総合理工学研究科修士課程出願書類とともに(総合理工学研究科1年次生は除く。)提出してください。

(1) 書類提出先及び問い合わせ先

〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1

信州大学繊維学部内信州大学大学院総合理工学研究科入試事務室

Tel:0268-21-5304

Email: f-master@shinshu-u.ac.jp

(2) 提出書類

提出書類	書類作成上の注意
①志望調書	総合理工学研究科繊維学専攻各選抜のホームページ掲載の、「博士課程教育リーディングプログラム志望調書」に必要事項を記入してください。 http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/graduate/
②英語能力調書	直近のTOEIC, TOEFL(PBT/iBT), IELTS及びそれと同等なものの中から一つについて、スコア等の写しを提出してください。
③推薦状	日本国以外から志願する者は、所属する大学の学長、学部長あるいは指導教員の推薦状を提出してください。 総合理工学研究科繊維学専攻各選抜のホームページ掲載の、「推薦状」に必要事項を記入してください。 http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/graduate/ ※推薦状は発行機関から直接、入試事務室に送付してください。

信州大学大学院総合理工学研究科(修士課程)に提出される出願書類のうち、入学志願票および成績証明書をプログラム履修生選考にも利用します。

6. 選考方法

選考は、書類選考と面接試問の結果を総合して行います。

なお面接試問は次により行います。

(1) 選考日：平成28年8月22日(月)(時間は追ってお知らせします。)

(2) 会場：信州大学繊維学部(会場は追ってお知らせします。)

(3) 方法 :

区 分	科 目
面接試験	◎ 基礎科学分野の基礎学力試験 ◎ 英語能力に関する試験 ◎ 志願書調書に関する試験 ◎ その他一般的事項の試験

7. 選考結果発表

平成28年9月8日(木) 本人あてに通知します。

8. 注意事項

- (1) 志望調書等の記載事項に記入漏れ, 誤記のないようにしてください。
- (2) 本プログラム履修申請に対する検定料は不要です。(信州大学大学院総合理工学研究科の各選抜の検定料は支払う必要があります。)

平成29年4月入学 平成28年10月編入（どちらかにチェック）

博士課程教育リーディングプログラム志望調書

氏名	(ふりがな)	※<大学記入> 総合理工学研究科 受験番号	
編入の場合 のみ記入	学籍番号	所属分野（ユニット）	指導教員

志望理由：取り組みたい研究テーマ・本プログラムにおける抱負などについて記入してください。

--

平成28年4月発行

発行・編集／〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1 0268-21-5304

信州大学大学院総合理工学研究科（繊維学専攻）入試事務室